

令和8年度
専攻科学生募集要項

学校長の推薦による選抜
学力検査による選抜
社会人特別選抜

	願書受付期間	選抜期日	合格者発表
学校長の推薦による選抜	令和7年4月17日(木)～4月21日(月)	5月10日(土)	5月15日(木)
学力検査による選抜	令和7年5月13日(火)～5月16日(金)	5月24日(土)	5月29日(木)
社会人特別選抜	令和7年9月18日(木)～9月22日(月)	10月11日(土)	10月16日(木)

独立行政法人国立高等専門学校機構
徳山工業高等専門学校

〒745-8585周南市学園台

TEL (0834) 29-6233 (学生課)

FAX (0834) 29-6161 (学生課)

E-mail kyoumu@tokuyama.ac.jp

自然災害や感染症流行等の非常時の対応について

自然災害や感染症流行等の非常時の状況によっては、各選抜において、その実施方法を変更する場合があります。

変更があった場合には、随時本校ホームページに掲載しますので、志願者におかれては、最新情報の確認に努めてください。

なお、令和8年度専攻科入学者選抜に出願した者について、p.2「Ⅲ 選抜日程」の(1)、(2)の理由により、各選抜の本試験を受験できない場合は、追試験を受験することができます。追試験の実施については、「Ⅲ 選抜日程」を確認してください。

【問合せ先】徳山工業高等専門学校学生課教務係

Tel (0834)29-6233 E-mail kyoumu@tokuyama.ac.jp

目次

学生募集要項.....	1
Ⅰ 入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）.....	1
Ⅱ 募集人員.....	2
Ⅲ 選抜日程.....	2
Ⅳ 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して.....	2
Ⅴ 学校長の推薦による選抜.....	4
Ⅵ 学力検査による選抜.....	7
Ⅶ 社会人特別選抜.....	11

学生募集要項

I 入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）

本校のアドミッションポリシーは、ディプロマポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学させるためのものです。具体的には次のような人を求めています。

＜専攻科入学者に求める学生像＞

専攻科では、次のような人を広く求めています。

- ・複合分野の基礎となる基本的素養が身についている人
- ・コミュニケーション能力や倫理的判断能力が身についている人
- ・実験・演習や卒業研究に意欲をもって取り組んでいる人
- ・ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えている人

本校では、入学者の選抜に関して以下の方針を定めています。

＜専攻科入学者選抜の基本方針＞

専攻科入学者の選抜は、「学校長の推薦による選抜」、「学力検査による選抜」および「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

- ・「学校長の推薦による選抜」においては、在籍学校長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、卒業研究計画書に基づく面接（実験・演習や卒業研究の取り組みを評価）及び願書、推薦書などを参考にした面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果並びに出願書類をもとに、総合的に判定します。
- ・「学力検査による選抜」においては、数学、英語及び専門科目の得点（複合分野の基礎となる基本的素養を評価）、面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果並びに出願書類をもとに、総合判定により行います。英語はTOEICスコアを本校専攻科で定めた基準により換算します。また専門科目は口頭試問で実施します。なお、専門科目は外部資格による免除制度があります。
- ・「社会人特別選抜」においては、所属する機関の長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、面接（コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）の結果及び出願書類をもとに、総合判定により行います。

本校の卒業・修了認定の基本方針（ディプロマポリシー）は、本校ホームページの「徳山高専 三つのポリシー」（<https://www.tokuyama.ac.jp/school/whats/policy.html>）をご覧ください。

II 募集人員

機械制御工学専攻	情報電子工学専攻	環境建設工学専攻	計
4名	4名	4名	12名

III 選抜日程

	願書受付期間	選抜期日	合格者発表
学校長の推薦による選抜	令和7年4月17日(木)～4月21日(月)	5月10日(土)	5月15日(木)
学力検査による選抜	令和7年5月13日(火)～5月16日(金)	5月24日(土)	5月29日(木)
社会人特別選抜	令和7年9月18日(木)～9月22日(月)	10月11日(土)	10月16日(木)

学校長の推薦による選抜合格者の確約書提出期限 令和7年5月23日(金)

社会人特別選抜合格者の確約書提出期限 令和7年10月31日(金)

令和8年度入学者選抜に出願した者について、次のいずれかに当てはまる場合は、「学校長の推薦による選抜」もしくは「学力検査による選抜」の追試験を受験することができます。

- (1) 学校保健安全法施行規則(昭和三十三年文部省令第十八号)第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、各選抜の本試験を受験できない者で、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者。
- (2) (1)を除く、受験者自身の責めに帰することができない理由(月経随伴症状等を含む)で本試験を受験できず、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明し、校長が認めた者。

また、受験することのできる追試験の区分は次のとおりです。

受験できなかった本試験名		受験対象となる追試験名
「学校長の推薦による選抜」の本試験	→	「学校長の推薦による選抜」の追試験
「学力検査による選抜」の本試験	→	「学力検査による選抜」の追試験

なお、追試験の受験を希望する場合は、医療機関等又は出身学校等の長による証明書等を必ず当日まで、もしくは後日提出してください。

追試験の受験にあたっては、再度出願や調査書等の提出、検定料を納める必要はありません。

	追試験選抜期日	追試験合格者発表
学校長の推薦による選抜	5月17日(土)	5月22日(木)
学力検査による選抜	5月31日(土)	6月5日(木)
社会人特別選抜	10月18日(土)	10月23日(木)

※確約書提出期限は本試験に同じ。

IV 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、障害等による支援ニーズのある者に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願期限の一か月前にあたる令和7年3月21日(金)(学校長の推薦による選抜)、令和7年4月16日(水)(学力検査による選抜)又は令和7年8月22日(金)(社会人特別選抜)を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求め場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)高等専門学校、短期大学、専修学校入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要否に関しても本校学生課までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、本校で確認します。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。選抜後、または入学後に合理的配慮に関して初めて相談する場合は、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談は、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務係 TEL (0834)29-6233
FAX (0834)29-6161 E-mail kyoumu@tokuyama.ac.jp

V 学校長の推薦による選抜

1. 出願資格

次の(1)から(4)までの要件を満たす者で、在籍学校長が学力・人物ともに優れていると認め推薦する者。
ただし、1校から1専攻への推薦は、成績上位者4名までとする。

- (1) 次の(ア)から(エ)までのいずれかに該当する者
 - (ア) 高等専門学校を令和8年3月卒業見込みの者
 - (イ) 短期大学を令和8年3月卒業見込みの者
 - (ウ) 専修学校の専門課程を令和8年3月修了見込みの者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
 - (エ) その他本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (2) TOEICスコア350以上を取得した者
- (3) 卒業前年度の学年評価における席次（クラスがない場合は学科又は課程の順位とする。）が、上位1/2以内であること。
- (4) 合格した場合、入学を確約できる者

※以下のいずれかに該当する者は、各在籍校で修得した科目により、専攻科修了後の学位（学士（工学））の取得要件及び日本技術者教育認定機構（JABEE）認定の本校「設計情報工学」プログラム修了要件を充足できるか確認しますので、願書受付開始日の2週間前までに、本校学生課教務係に相談してください。

- ・本校本科に令和3年4月より前に入学した者
- ・中学校卒業以降に本校以外の教育機関での学習履歴を有する者

2. 願書受付

受付期間 令和7年4月17日（木）から4月21日（月）まで

受付時間 午前9時から午後4時30分まで

※ただし、土・日・祝日は除きます。また、郵送の場合も同期間内に必着とします。

受付場所 〒745-8585 周南市学園台 徳山工業高等専門学校 学生課教務係

3. 出願手続

入学志願者は、次の書類等をそろえ、本校学生課教務係に提出してください。

1	入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入すること。
2	受験票 写真票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付すること。写真は、上半身・無帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願前3か月以内に撮影したもの
3	推薦書	本校所定の様式により在籍学校長が作成したもの
4	卒業（修了） 見込み証明書	在籍学校の用紙により在籍学校長が作成したもの 本校卒業見込みの者は不要とする。
5	成績証明書	在籍学校の用紙により在籍学校長が作成したもの
6	TOEIC スコアシート	TOEICスコアシートをコピーしたもの（公開テスト、IPテストいずれでも可）
7	卒業研究計画書	本校所定の様式に、卒業研究の要旨（文字のみ）について1,000字以内にまとめたもの
8	検定料	16,500円 ※4月1日以降に振り込みをしてください。 次の口座に振り込み「振込金受取書」を「1入学願書」の裏面に貼付してください。 振込先銀行 西京銀行 本店営業部 受取人口座 普通 2032668 受取人名 ドク) コクリツコウトウセンモンガツコウキコウホンブ 独) 国立高等専門学校機構本部 依頼人氏名の前には「専攻科推薦」を付けてください。 例) センコウカスイセン シュウナン ハナコ 専攻科推薦 周南 花子 ゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁の注意をご覧ください。

9	受験票 送付用封筒(長 形3号)	受験票の郵送を希望する者は、入学志願者の住所(郵便番号を記入し、自宅外の者は〇〇方等を記入すること。)及び氏名を記入し、簡易書留料郵便切手(460円)を貼付すること(ただし、本校卒業見込みの者は不要)。
10	その他	外国人は、市区町村の発行する住民票(コピー不可。在留資格等の記載必要。ただし、個人番号(マイナンバー)の記載のないもの)、旅券(パスポート)(コピー可。ただし、在留資格・期間の記載されたページ必要)又は在留カード(コピー可)を提出すること。

[出願に関する注意事項]

- (1) 出願書類に不備があるものは受け付けません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (3) 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。
- (4) 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝(二重取消)線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- (5) 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- (6) 受理した書類及び納付した検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。
 - (ア) 検定料を納付したが出願しなかった、又は出願書類が受理されなかった場合
 - (イ) 検定料を重複して納付した場合
- (7) 出願書類は、次のWebページから様式を入手し、作成してください。
徳山高専トップ (<https://www.tokuyama.ac.jp>) > 入試情報 > 専攻科入試案内 > 出願書類
又は、直接URL (<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/senkouka/shiryuu.html>)
- (8) 入学願書には、「学力検査による選抜」の出願に備えて、専門科目の免除等の欄も記入してください。(参照「9. 「学校長の推薦による選抜」に合格しなかった者の取扱い」、「VI 学力検査による選抜 4. 選抜方法(3)」)
- (9) 出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - (ア) 入学後の教育・指導
 - (イ) 入学料、授業料の免除申請の審査
 - (ウ) 奨学金申請の審査
 - (エ) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
 - (オ) 同窓会・後援会等の案内
- (10) 特別研究指導教員は希望どおりにならない場合があります。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、卒業研究計画書に基づく面接及び願書・推薦書・成績証明書等を参考にした面接の結果並びに出願書類をもとに、総合判定により行います。

- (1) 選抜日 令和7年5月10日(土)
※本校が指定する時間までに指定の場所に集合してください。
- (2) 選抜場所 徳山工業高等専門学校

5. 合格者発表

令和7年5月15日(木) 午前10時

本校に掲示するとともに、在籍学校長を経て、合格者に対し合格通知書を送付します。

出願状況及び合格者は、次のWebページで公開します。電話等による問い合わせには応じません。

(https://www.tokuyama.ac.jp/news_exam/index.html)

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和7年5月23日(金)までに本校学生課教務係に提出してください。

7. 入学手続

合格者あてに令和8年2月中旬に別途通知します。

8. その他の注意事項

入学願書提出後に、住所（郵便受取先）を変更したときは、ただちに、本校学生課教務係に届け出てください。

選抜当日、「受験票」は必ず携行してください。

9. 「学校長の推薦による選抜」に合格しなかった者の取扱い

「学校長の推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力検査による選抜」を希望する者は、「学力検査による選抜」に定めるところにより、再度出願手続きを行ってください。ただし、重複する書類の提出は不要です。**検定料は再度振り込む必要があります**（「振込金受取書」を出願期限までに提出してください。）。

VI 学力検査による選抜

1. 出願資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

- (1) 次の(ア)から(キ)までのいずれかに該当する者
 - (ア) 高等専門学校を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
 - (イ) 短期大学を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
 - (ウ) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者又は令和8年3月までに同要件を満たす見込みの者
 - (エ) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
 - (オ) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国における14年の課程を修了した者
 - (カ) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (キ) その他本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (2) TOEICスコア350以上を取得した者

※以下のいずれかに該当する者は、各在籍校で修得した科目により、専攻科修了後の学位（学士（工学））の取得要件及び日本技術者教育認定機構（JABEE）認定の本校「設計情報工学」プログラム修了要件を充足できるか確認しますので、願書受付開始日の2週間前までに、本校学生課教務係に相談してください。

- ・本校本科に令和3年4月より前に入学した者
- ・中学校卒業以降に本校以外の教育機関での学習履歴を有する者

2. 願書受付

受付期間 令和7年5月13日（火）から5月16日（金）まで

受付時間 午前9時から午後4時30分まで

※ただし、土・日・祝日は除きます。また、郵送の場合も同期間内に必着とします。

受付場所 〒745-8585 周南市学園台 徳山工業高等専門学校 学生課教務係

3. 出願手続

入学志願者は、次の書類等をそろえ、本校学生課教務係に提出してください。

1	入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入すること。 4. 選抜方法(2)の実用英検、技術英検（旧工業英検）の資格を英語得点とする場合又は(3)の専門科目口頭試問の免除を希望する場合は、証明できる書類を添付すること。
2	受験票 写真票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付すること。写真は、上半身・無帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願前3か月以内に撮影したもの
3	卒業（修了） 証明書又は卒業（修了）見 込み証明書	当該学校の用紙により、当該学校長が作成したもの 本校を卒業した者及び卒業見込みの者は不要とする。
4	成績証明書	当該学校の用紙により、当該学校長が作成したもの
5	TOEIC スコアシート	TOEICスコアシートをコピーしたもの（公開テスト、IPテストいずれでも可）
6	検定料	16,500円 ※4月1日以降に振り込みをしてください。 次の口座に振り込み、「振込金受取書」を「1入学願書」の裏面に貼付してください。 振込先銀行 西京銀行 本店営業部 受取人口座 普通 2032668 受取人名 ドク) コクリツコウトウセンモンガツコウキコウホンブ 独) 国立高等専門学校機構本部

		<p>依頼人氏名の前には「専攻科学力」を付けてください。 例) センコウカガクリョク シュウナン ハナコ 専攻科学力 周南 花子 ゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁の注意をご覧ください。</p>
7	受験票 送付用封筒 (長形3号)	<p>受験票の郵送を希望する者は、入学志願者の住所(郵便番号を記入し、自宅外の者は〇〇方等を記入すること。)及び氏名を記入し、簡易書留料郵便切手(460円)を貼付すること(ただし、本校卒業見込みの者は不要)。</p>
8	その他	<p>外国人は、市区町村の発行する住民票(コピー不可。在留資格等の記載必要。ただし、個人番号(マイナンバー)の記載のないもの)、旅券(パスポート)(コピー可。ただし、在留資格・期間の記載されたページ必要)又は在留カード(コピー可)を提出すること。</p>

[出願に関する注意事項]

- (1) 出願書類に不備があるものは受け付けません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (3) 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。
- (4) 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝(二重取消)線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- (5) 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- (6) 受理した書類及び納付した検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。
 - (ア) 検定料を納付したが出願しなかった、又は出願書類が受理されなかった場合
 - (イ) 検定料を重複して納付した場合
- (7) 出願書類は、次のWebページから様式を入手し、作成してください。
徳山高専トップ (<https://www.tokuyama.ac.jp>) > 入試情報 > 専攻科入試案内 > 出願書類
又は、直接URL (<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/senkouka/shiryou.html>)
- (8) 出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - (ア) 入学後の教育・指導
 - (イ) 入学料、授業料の免除申請の審査
 - (ウ) 奨学金申請の審査
 - (エ) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
 - (オ) 同窓会・後援会等の案内
- (9) 特別研究指導教員は希望どおりにならない場合があります。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、以下に示す一定の基準を満足した者を対象とし、数学、英語及び専門科目の得点、面接の結果並びに出願書類をもとに、総合判定により行います。

- ・ 数学：30点以上
 - ・ 英語：50点 (TOEICスコア350) 以上
 - ・ 専門科目：120点以上
 - ・ 以上3つの評価の合計点：240点以上
- (1) 数学の評価は、学力検査(検査時間60分、3専攻共通問題、100点満点)によるものとします。
 - (2) 英語の評価は、次のとおりTOEICスコアによるものとします。
出願時に提出されたTOEICスコアシート(公開テスト、IPテストいずれでも可)により、取得スコアを次の換算式に基づき100点満点に換算し、英語の得点とします(小数点以下切り上げ)。
 - ・ TOEICスコア350以上470未満 英語得点=50+(スコア-350)×3÷12
 - ・ TOEICスコア470以上 英語得点=80+(スコア-490)÷25
なお、実用英検2級以上、技術英検準プロフェッショナル(旧工業英検2級)以上の資格を有する者の英語得点は、TOEICスコアにかかわらず80点とすることができます。(入学願書に証明できる書類を添付してください。)
 - (3) 専門科目の評価は、口頭試問(検査時間15分程度、合計200点満点)によるものとします。

機械制御工学専攻及び環境建設工学専攻は2分野から1分野を事前を選択（入学願書にて登録）し、情報電子工学専攻は2分野とします。（(5) 出題科目の範囲等 参照）

ただし、以下に該当する入学志願者は専門科目口頭試問を免除することができます。入学願書の所定の欄に専門科目口頭試問の免除希望の有無を記載してください。

専門科目口頭試問には免除制度があります。次表に掲げる入学志願者は、免除を希望することができます。入学願書の所定の欄に専門科目口頭試問の免除希望の有無を記載してください。（**入学願書に証明できる書類を添付してください。**）

	専門科目口頭試問の免除を希望することができる者	専門科目の得点
機械制御工学専攻	機械設計技術者3級、第三種電気主任技術者試験において理論、電力、機械のうち2科目以上の科目に合格し科目合格留保者である者、To-Beエンジニア試験（旧検定）でスタンダード又はアドバンスト（旧Cランク・3級以上）の認定を受けた者、又は本校が同等以上と認める資格を有する者*	160点
情報電子工学専攻	基本情報技術者、電気通信工事担任者（第一級アナログ通信、第一級デジタル通信、総合通信、旧AI第一種、旧DD第一種、旧AI・DD総合種）又は本校が同等以上と認める資格を有する者*	160点
環境建設工学専攻	土木技術検定試験合格者又は技術士一次試験合格者	土木技術検定試験の得点（合格通知書に記載の得点率）×0.8+120 技術士一次試験の得点+120 ただし、160点未満となる場合は160点

※本校が同等以上と認める資格試験については、事前に本校学生課教務係に相談してください。

(4) 選抜日 令和7年5月24日（土）

※本校が指定する時間までに指定の場所に集合してください。

(5) 出題科目の範囲等

	科目	出題範囲等
共通	数学	微積分、常微分方程式、線形代数
専 門 科 目		
機械制御工学専攻	分野	次の2分野から1分野を事前を選択する（入学願書にて登録する）こと。
	機械系	材料力学 （引張・圧縮、曲げ、ねじり）、 水力学 （流体の静力学、流体の運動、管内の流れ）、 熱力学 （状態方程式、熱力学第一法則・第二法則、サイクル）
	電気系	電磁気学 （電界、静電エネルギー、磁界、磁界エネルギー）、 電気回路 （直流回路、交流回路、三相交流回路、過渡現象）、 電子回路 （組み合わせ回路、順序回路、オペアンプ）
情報電子工学専攻	分野	次の2分野とも受験すること。
	コンピュータソフトウェア	情報数学 （集合、論理と証明、グラフ）、 プログラミング （C言語）
	コンピュータハードウェア	電気回路・アナログ回路 （線形回路、増幅回路）、 デジタル回路 （組み合わせ回路、順序回路）

環境 建設 工学 専攻	分野	次の2分野から1分野を事前を選択する（入学願書にて登録する）こと。
	土木系	構造力学 （静定構造力学（影響線は除く））、 地盤工学 （土の基本的な性質、圧密、土のせん断強さ、土圧、斜面の安定）、 水理学 （静水力学、管路の流れ、開水路の流れ）
	建築系	建築計画 （建築計画各論、西洋建築史、都市計画）、 建築構造 （鉄骨構造、鉄筋コンクリート造、木造）、 建築環境工学 （熱環境、光環境、音環境、空気環境、地球環境）

(6) 選抜場所 徳山工業高等専門学校

5. 合格者発表

令和7年5月29日（木） 午前10時

本校に掲示するとともに、合格者に対し合格通知書を送付します。

出願状況及び合格者は、次のWebページで公開します。電話等による問い合わせには応じません。

(https://www.tokuyama.ac.jp/news_exam/index.html)

6. 入試成績の開示について

開示を希望する者は、入試成績開示申請書（5月中旬以降本校Webページに掲載します。）に必要事項を記入のうえ、受験票（コピー不可）を添えて学生課窓口又は郵送で申請してください。なお、開示は、受験者本人からの申請に限ります。

詳細は本校Webページを参照してください。

7. 入学手続

合格者あてに令和8年2月中旬に別途通知します。

8. その他の注意事項

入学願書提出後に、住所（郵便受取先）を変更したときは、ただちに、本校学生課教務係に届け出てください。

選抜当日「受験票」は必ず携行してください。

Ⅶ 社会人特別選抜

1. 出願資格

次の(1)から(3)までの要件を満たす者で、所属する機関の長が学力・人物ともに優れていると認め推薦する者

- (1) 次の(ア)から(エ)までのいずれかに該当する者
 - (ア) 高等専門学校を卒業した者
 - (イ) 短期大学を卒業した者
 - (ウ) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
 - (エ) その他本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (2) TOEICスコア350以上を取得した者
- (3) 出願時において、企業、国・地方公共団体、研究機関等に職員として、現に1年以上勤務している者

※出身校で修得した科目により、専攻科修了後の学位（学士（工学））の取得要件及び日本技術者教育認定機構（JABEE）認定の本校「設計情報工学」プログラム修了要件を充足できるか確認しますので、願書受付開始日の2週間前までに、本校学生課教務係に相談してください。

2. 願書受付

受付期間 令和7年9月18日（木）から9月22日（月）まで

受付時間 午前9時から午後4時30分まで

※ただし、土・日・祝日は除きます。また、郵送の場合も同期間内に必着とします。

提出場所 〒745-8585 周南市学園台 徳山工業高等専門学校 学生課教務係

3. 出願手続

入学志願者は、次の書類等をそろえ、本校学生課教務係に提出してください。

1	入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入すること。
2	受験票 写真票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付すること。写真は、上半身・無帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願前3か月以内に撮影したもの
3	推薦書	本校所定の様式により勤務先所属長が作成したもの
4	卒業（修了） 証明書	本校を卒業した者は不要とする。
5	成績証明書	当該学校の用紙により、当該学校長が作成したもの
6	TOEIC スコアシート	TOEICのスコアシートをコピーしたもの（公開テスト、IPテストいずれでも可）
7	検定料	16,500円 次の口座に振り込み、「振込金受取書」を「1 入学願書」の裏面に貼付してください。 振込先銀行 西京銀行 本店営業部 受取人口座 普通 2032668 受取人名 ドク) コクリツコウトウセンモンガツコウキコウホンブ 独) 国立高等専門学校機構本部 依頼人氏名の前には「 専攻科社会人 」を付けてください。 例) センコウカシャカイジン シュウナン ハナコ 専攻科社会人 周南 花子 ゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁の注意をご覧ください。
8	受験票 送付用封筒 (長形3号)	受験票の郵送を希望する者は、入学志願者の住所（郵便番号を記入し、自宅外の者は〇〇方等を記入すること。）及び氏名を記入し、簡易書留料郵便切手（460円）を貼付すること。
9	その他	外国人は、市区町村の発行する住民票（コピー不可。在留資格等の記載必要。ただし、個人番号（マイナンバー）の記載のないもの）、旅券（パスポート）（コピー可。ただし、在留資格・期間の記載されたページ必要）又は在留カード（コピー可）を提出すること。

[出願に関する注意事項]

- (1) 出願書類に不備があるものは受け付けません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (3) 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。
- (4) 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝（二重取消）線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- (5) 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- (6) 受理した書類及び納付した検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。
 - (ア) 検定料を納付したが出願しなかった、又は出願書類が受理されなかった場合
 - (イ) 検定料を重複して納付した場合
- (7) 出願書類は、次のWebページから様式を入手し、作成してください。
徳山高専トップ (<https://www.tokuyama.ac.jp>) > 入試情報 > 専攻科入試案内 > 出願書類
又は、直接URL (<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/senkouka/shiryuu.html>)
- (8) 出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - (ア) 入学後の教育・指導
 - (イ) 入学料、授業料の免除申請の審査
 - (ウ) 奨学金申請の審査
 - (エ) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
 - (オ) 同窓会・後援会等の案内
- (9) 特別研究指導教員は希望どおりにならない場合があります。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、面接の結果及び出願書類をもとに、総合判定により行います。

- (1) 選抜日 令和7年10月11日（土）
※本校が指定する時間までに指定の場所に集合してください。
- (2) 選抜場所 徳山工業高等専門学校

5. 合格者発表

令和7年10月16日（木） 午前10時

本校に掲示するとともに、所属する機関の長を経て、合格者に対し合格通知書を送付します。
出願状況及び合格者は、次のWebページで公開します。電話等による問い合わせには応じません。
(https://www.tokuyama.ac.jp/news_exam/index.html)

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和7年10月31日（金）までに本校学生課教務係に提出してください。期日までに「入学確約書」の提出がない場合は、入学の意志がなく、入学を辞退したものとして取り扱います。

7. 入学手続

合格者あてに令和8年2月中旬、別途通知します。

8. その他の注意事項

入学願書提出後に、住所（郵便受取先）を変更したときは、ただちに、本校学生課教務係に届け出てください。

選抜当日「受験票」は必ず携行してください。

特別研究を担当する教員名及び研究テーマ

機械制御工学専攻

教授	櫻本 逸男	専攻の区分：機械工学（計測制御系）
研究テーマ：生体軟組織の機械的性質に関する研究 ※令和8年度入学生は希望することができません		
教授	張間 貴史	専攻の区分：機械工学（エネルギー系）
研究テーマ：三次元自由噴流の操作に関する研究		
教授	片山 光亮	専攻の区分：電気電子工学（計測制御系）
研究テーマ：通信の高度化に関する研究		
教授	福田 明	専攻の区分：機械工学（材料系）
研究テーマ：精密加工に関する研究		
准教授	石田 浩一	専攻の区分：電気電子工学（計測制御系）
研究テーマ：うず電流応用技術に関する研究		
准教授	飛車 来人	専攻の区分：電気電子工学（数理工学系）
研究テーマ：マクスウェル方程式の数値解析		
准教授	三浦 靖一郎	専攻の区分：電気電子工学（エネルギー系）
研究テーマ：ICTを用いた基礎物理学分野に関する研究		
准教授	垣内田 翔子	専攻の区分：電気電子工学（計測制御系）
研究テーマ：生体運動制御に関する研究		
准教授	池田 将晃	専攻の区分：電気電子工学（計測制御系）
研究テーマ：生物模倣型ロボットの開発に関する研究		

情報電子工学専攻

教授	高山 泰博	専攻の区分：情報工学（知識情報系）
研究テーマ：自然言語処理および文書処理に関する研究 ※令和8年度入学生は希望することができません		
教授	浦上 美佐子	専攻の区分：情報工学（電子通信系）
研究テーマ：自律的な無線ネットワークシステムに関する研究		
教授	室谷 英彰	専攻の区分：電気電子工学（電子通信系）
研究テーマ：半導体材料および半導体デバイスの特性評価と応用に関する研究		
准教授	宮崎 亮一	専攻の区分：情報工学、電気電子工学（知識情報系）
研究テーマ：音響信号処理に関する研究（情報工学） マルチメディアシステムに関する研究（電気電子工学）		
准教授	増井 詠一郎	専攻の区分：情報工学、電気電子工学（知識情報系）
研究テーマ：ネットワークシステムの解析と制御系設計に関する研究（情報工学） アドバンスド制御理論に基づく制御系設計に関する研究（電気電子工学）		
助教	荻原 宏是	専攻の区分：情報工学、電気電子工学（知識情報系）
研究テーマ：統計的パターン認識理論に関する研究（情報工学） 統計的パターン認識理論とその応用に関する研究（電気電子工学）		

環境建設工学専攻

教授	渡辺 勝利	専攻の区分：土木工学、建築学（水理系）
研究テーマ：水の流れに着目した汚水処理装置の性能向上に関する研究（土木工学） 建築物および建築環境における流れの諸問題に関する研究（建築学） ※令和8年度入学生は希望することができません		
教授	中川 明子	専攻の区分：建築学（建築計画系）
研究テーマ：歴史的遺産に関する研究		
教授	島袋 淳	専攻の区分：土木工学、建築学（材料系）
研究テーマ：土木・建築材料の品質改善、開発ならびに各特性の評価に関する研究（土木工学） 土木・建築材料の品質改善、開発ならびに各特性の評価に関する研究（建築学）		
教授	海田 辰将	専攻の区分：土木工学、建築学（構造系）
研究テーマ：土木構造物の耐荷性能・インフラメンテナンスに関する研究（土木工学） 建築構造部材の耐荷力特性・メンテナンスに関する研究（建築学）		
准教授	目山 直樹	専攻の区分：建築学（建築計画系）
研究テーマ：安心・安全な都市・建築空間の構築に関する研究		
准教授	桑嶋 啓治	専攻の区分：土木工学（地盤系）
研究テーマ：各種地盤材料の力学特性に関する研究		
准教授	河野 拓也	専攻の区分：建築学（建築計画系）
研究テーマ：日本の住空間における建築デザイン、住環境および設計手法に関する研究		
准教授	荒木 功平	専攻の区分：土木工学、建築学（地盤系）
研究テーマ：斜面崩壊予知に向けた土質数値力学・観測データの援用に関する研究（土木工学） 住宅地盤等の変形・強度特性解析に向けた土質数値力学モデルに関する研究（建築学）		
准教授	江本 晃美	専攻の区分：建築学、土木工学（建築計画系）
研究テーマ：都市・地域のサステナビリティとレジリエンスに関する研究（土木工学） 建築・都市デザインに関する研究（建築学）		
准教授	温品 達也	専攻の区分：土木工学、建築学（材料系）
研究テーマ：鉄筋コンクリートの新材料・新工法開発や耐久性評価に関する研究（土木工学・建築学） 月および火星の建設材料開発（土木工学・建築学）		
准教授	段下 剛志	専攻の区分：土木工学、建築学（環境系）
研究テーマ：持続可能な水処理技術の開発に関する研究（土木工学） 分散型生活排水処理における水質浄化性能の向上に関する研究（建築学）		
助教	宇根 拓孝	専攻の区分：建築学（水理系）
研究テーマ：高層建築物周辺の流れの三次元構造に関する研究		
助教	山根 達郎	専攻の区分：建築学（構造系）
研究テーマ：建築構造物の維持管理の効率化に関する研究		

入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点

入学検定料はゆうちょ銀行からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- 2) 振込後は「振込依頼書（兼振替払請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、入学願書の裏面に貼付してください。

受験番号※

学校長推薦・学力 兼用

令和8年度 徳山工業高等専門学校

専攻科入学願書

推薦 ・ 学力

志願専攻名	工学専攻	志望 順位	第1 第2	
ふりがな	(自署)			
氏名	(自署)	生年 月日	(西暦)	年 月 日
現住所	〒 () 局 番			
出身校 (学科)	所在地 〒	学校 (西暦) 年 月卒業・卒業見込)	学校 学科	
卒業後の学 歴及び職歴	自 (西暦)	年 月 日		
	至 (西暦)	年 月 日		
	自 (西暦)	年 月 日		
	至 (西暦)	年 月 日		
特別研究で取り 組みたいテーマ		特別研究の指導 を希望する教員		
入学を希望する 動機・理由				

学力検査による選抜の専門科目 (口頭試問)

・学校長推薦選抜の志願者で、合格とならなかった場合に引き続き学力検査の受験を希望する場合も記入してください。

専攻	「免除を希望する」者は <input checked="" type="checkbox"/> を記入したうえで取得資格名を()に記載すること。	「免除を希望しない」者は受験する分野に <input checked="" type="checkbox"/> を記入すること。
機械制御	<input type="checkbox"/> 免除 ()	<input type="checkbox"/> 機械系 <input type="checkbox"/> 電気系
情報電子	<input type="checkbox"/> 免除 ()	
環境建設	<input type="checkbox"/> 免除 ()	<input type="checkbox"/> 土木系 <input type="checkbox"/> 建築系

記入上の注意

- ※欄は記入しないこと。その他の欄は志願者がもれなく記入し、A4用紙に印刷すること。
- 志望順位欄は進路先(徳山高専、〇〇大学、〇〇県庁、民間企業など)の上位2つを記入すること。この情報は入学見込み者数を把握するためだけに使用し、合否判定には一切使用しない。
- 氏名及びふりがなの欄は自署(楷書)すること。それ以外は、パソコンでの入力を可とする。
- 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を——線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入すること。

専攻科入学願書

受験番号	※	志願専攻名	工学専攻	
志願者	ふりがな	(自署)		
	氏名	(自署)	生年 月日	(西暦) 年 月 日
	現住所	〒 番 () 局 番		
	出身校 (学科)	所在地 〒	学校 (西暦) 年 月卒業)	学科 番
	卒業後の学 歴及び職歴	自 (西暦) 年 月 日		
		至 (西暦) 年 月 日		
		自 (西暦) 年 月 日		
		至 (西暦) 年 月 日		
		自 (西暦) 年 月 日		
	勤務先	勤務先名 所在地 〒 番 () 局 番		
特別研究で取り 組みたいテーマ			特別研究の指導 を希望する教員	
入学を希望する 動機・理由				

記入上の注意

- ※欄は記入しないこと。その他の欄は志願者がもれなく記入し、A4用紙に印刷すること。
- 氏名及びふりがなの欄は自署（楷書）すること。それ以外は、パソコンでの入力を可とする。
- 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を——線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入すること。

学校長推薦用

受験番号 ※

推 薦 書

年 月 日

徳山工業高等専門学校長 殿

学校名

学校長名

印

下記の者は、貴校専攻科への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

志願者氏名：

生年月日：（西暦） 年 月 日

志願専攻名： 工学専攻

在籍学科：

1. 出願資格（卒業前年度の学年評価における席次） 【 人 中 位】

2. 推薦理由（適性や意欲などを含む。）

記載責任者職・氏名

印

記入上の注意

※欄は記入しないこと。A4用紙に印刷すること。

推 薦 書

年 月 日

徳山工業高等専門学校長 殿

勤務先名

所属長名

印

下記の者は、貴校専攻科への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

志願者氏名：

生年月日：（西暦） 年 月 日

志願専攻名：

工学専攻

所属部・課・係：

1. 推薦理由（適性や意欲などを含む。）	2. 勤 務 態 度 3. 人物及び生活状況 4. その他参考となる事項
記載責任者職・氏名	印

※欄は記入しないこと。A 4用紙に印刷すること。

卒業研究計画書

			受験番号	※
志望専攻	工学専攻	在籍校 (学科)	国立 公立 私立	学 校 学 科
ふりがな				
氏 名				
題 目				卒業研究指導教員
要 旨 (1,000字以内)				

※欄は記入しないこと。その他の欄は志願者がもれなく記入し、A4用紙に印刷すること。

**令和8年度
徳山工業高等専門学校専攻科
写 真 票**

受験番号	※
受験の方法	<input type="checkbox"/> 推薦 <input type="checkbox"/> 学力 <input type="checkbox"/> 社会人
志望専攻	工学専攻
ふりがな	(自署)
氏 名	(自署)

受験の方法に☑を記入すること。

上半身、無帽、正面向
きで出願前3か月以内
に撮影したもの（縦4
cm×横3 cm、カラー写
真に限る）をこの台紙
に貼り付ける。

**令和8年度
徳山工業高等専門学校専攻科
受 験 票**

受験番号	※
受験の方法	<input type="checkbox"/> 推 薦 <input type="checkbox"/> 学 力 <input type="checkbox"/> 社会人
志望専攻	工学専攻
ふりがな	(自署)
氏 名	(自署)

受験の方法に☑を記入すること。

受験上の留意事項

(全選抜共通)

1. 受験者は本校が指定する時間までに指定の場所へ集合すること。
2. 受験票は常に携帯すること。
3. 受験票を忘れたり、遺失した場合は直ちに学生課に届け出ること。

(学力選抜のみ)

4. 携行品は検査室の指定場所に置くこと。
5. 検査室に時計は設置しないので、各自で用意すること。
6. 検査室には受験票・筆記用具（黒）・消しゴム・鉛筆削り・時計（計算機能付は除く。）以外は持ち込んではならない。
7. 各検査開始 20 分以上遅刻した者は入室できない。
8. 各検査時間が終了するまで退室できない。
9. 昼食は各自で用意し、弁当ガラ等は持ち帰ること。

※欄は記入しないこと。その他の欄は志願者がもれなく記入し、A4用紙に印刷すること（切り取らないこと）。氏名及びふりがなの欄は自署（楷書）すること。